

第17回

関東信越厚生局地域包括ケア推進本部会議 議事次第

令和元年10月8日(火)

第1部 幹部会議終了後

第2部 15:30~16:30

第一会議室

【第1部】

1 開会

2 議題

(1) 報告事項

- ① 地域包括ケア推進業務の実施状況(7月~9月)及び地域包括ケア推進業務の今後の実施予定について.....資料1
- ② 認知症サポーター養成講座の開催について.....資料2
- ③ 自治体に対する定例報告の情報提供について.....資料3
- ④ いきがい・助け合いサミット in 大阪の報告について(資料は別途メール送付)
- ⑤ その他.....資料4

(2) 提案等

地域包括ケアの推進に資する情報の収集について(再依頼).....資料5

3 意見交換

4 閉会

【第2部】

1 開会

2 講義

「地域包括ケアと地域共生社会づくり」

日本生命保険相互会社 特別顧問(前厚生労働事務次官)

かもはら もとみち
蒲原 基道

3 質疑応答

4 閉会

令和元年 10 月 8 日

地域包括ケア推進課

地域包括ケア推進業務の実施状況（令和元年度 第 2 四半期）

推進本部関係	○第 16 回地域包括ケア推進本部会議（7 月 29 日） ○参与の委嘱（7 月 1 日）
都県協議会関係	○第 3 回地域包括ケア推進都県協議会分科会（7 月 19 日） 「認知症地域支援推進員の活動の展開に向けて」
啓発活動（セミナー等）	○第 4 回地域包括ケア事例研究会（7 月 10 日） 「在宅医療介護連携」
講演依頼等	○成長戦略等の関東経済産業局の取り組みに関する説明会・意見交換会（7 月 10 日）
地域支援事業交付金執行事務	○令和元年度地域支援事業交付金の交付決定（8 月 23 日）
後援名義の使用申請	○株式会社 新潟日報社（8 月 6 日付） 「福祉・介護・健康フェア 2019」（10 月 26 日、11 月 17 日、12 月 1 日開催） ○一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会（8 月 6 日付） 「第 4 回全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま」（9 月 6 日、7 日開催） ○ケアマネ経営研究会（8 月 6 日付） 「医療と介護の連携を構築するケアマネジメント・セミナー」（9 月 20 日開催）
他省庁支分部局との連携	○経済産業局とのキャラバン隊による自治体等訪問 ・第 5 回 稲城市（7 月 16 日） ・第 6 回 埼玉県立大学：地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議（7 月 30 日） ・第 7 回 蓮田市、ひかりサロン蓮田ほか（9 月 12 日） ○関東地方整備局との居住支援に係る自治体訪問 ・茅ヶ崎市（7 月 12 日）、藤沢市（8 月 6 日）、前橋市（8 月 29 日） ○国土交通省主催の都道府県との居住支援に関する意見交換会への参加（9 月 5 日） ○関東運輸局との打合せ（7 月 10 日） ○関東農政局との打合せ（8 月 8 日）
認知症サポーター養成講座	○本局（9 月 13 日） 講師 認知症介護研究・研修東京センター 山口晴保センター長 ○茨城事務所（9 月 20 日） 講師 認知症ケア研究所 高橋克佳統括管理者 ○新潟事務所（9 月 24 日） 講師 日本歯科大学新潟病院 吉岡裕雄博士

機密性2

<p>その他</p>	<p>○医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー局長挨拶（7月25日）</p> <p>○自治体視察等</p> <ul style="list-style-type: none">・長野県（7月1日）、東京都（8月20日）、群馬県（8月29日）、新潟県（8月27日）・飯能市（8月22日）、流山市（8月28日）、幸手市（9月19日） <p>○健康経営埼玉推進協議会勉強会（7月26日）、セミナー（9月11日）</p>
------------	--

令和元年 10 月 8 日

令和元年度 関東信越厚生局地域包括ケア推進業務の実施予定

1. 会議等の実施予定

(1) 関東信越厚生局地域包括ケア推進本部会議

- ① 実施時期 年 4 回開催（4 月、7 月、10 月、検討中）
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎 1 号館 7 階 第一会議室
- ③ 実施概要 管轄区域内における地域包括ケアシステムの構築を推進するため、国の視点から都県及び市区町村等に対する必要な支援について協議するとともに、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に資する具体的な支援を実施することを目的として開催

(2) 関東信越厚生局地域包括ケア推進都県協議会

- ① 実施時期 年 2 回程度開催（5 月、冬期）
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎内会議室
- ③ 実施概要 地域包括ケアシステムの構築の支援を的確に実施するため、都県地域包括ケア関係者の意見交換を目的として開催

(3) 関東信越厚生局地域包括ケア推進都県協議会分科会

- ① 実施時期 年 2 回程度開催（7 月、11 月）
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎内会議室
- ③ 実施概要 都県担当者間の情報交換を目的にテーマ別に開催

【開催予定】

○ 第 4 回地域包括ケア推進都県協議会分科会

～都県による移動支援事業の支援体制構築に向けて～

ア. 日 程 令和元年 11 月 28 日（木）

イ. 場 所 さいたま新都心合同庁舎 1 号館 1 階 多目的室

ウ. 実施概要 都県職員を対象として、移動支援に関する先進事例を共有し、専門家の意見や関東運輸局の見解を踏まえ意見交換等を行うことにより、移動支援を行う又は行うことを検討している市町村に対する支援方法について、理解を深めることを目的として開催。

エ. 講 師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク
関東運輸局交通企画課（行政説明）

(4) 政令指定都市意見交換会

- ① 実施時期 年 1 回程度開催（12 月頃）

- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎内会議室
- ③ 実施概要 管内6政令市地域包括ケア関係者の意見交換を目的として開催

(5) さいたま新都心意見交換会

- ① 実施時期 年2回程度開催(10月、未定)
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎内会議室
- ③ 実施概要 関東農政局(農村計画課)、関東経済産業局(次世代・情報産業課)、関東地方整備局(住宅整備課、交通対策課)、関東運輸局(交通企画課)及び関東信越厚生局(地域包括ケア推進課)により、担当者レベルの意見交換を目的として開催

【開催予定】

- 第7回さいたま新都心意見交換会
 - ア. 日 程 令和元年10月29日(火) 15:30～
 - イ. 場 所 第一会議室

2. セミナー等の実施予定

(1) 地域包括ケア応援セミナー

- ① 実施時期 年2回程度開催(6月、2月)
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎1号館又は地方開催
- ③ 参加対象 自治体、一般等
- ④ 実施概要 自治体等の地域包括ケアに関する関心事に対し、講習会形式によりセミナーを開催し自治体を支援

(2) 産官学協働マッチングセミナー

- ① 実施時期 年2回程度開催(2月)
- ② 場 所 埼玉県立大学等(予定)
- ③ 参加対象 自治体、大学、事業者等
- ④ 実施概要 地域包括ケアに関し、産官学協働に関する調査の報告会をセミナー形式で行うとともに、特定のテーマに関する事業に関して、外部の力を求めたい「自治体」と、貢献意欲のある「大学」、「社会福祉法人」、「医療法人」、「民間企業」等とのマッチングを行うことを目的として開催
- ⑤ 共催関係 関東経済産業局との共催

(3) 事例研究会

- ① 日 程 年3回程度開催(7月、11月、冬期)
- ② 場 所 さいたま新都心合同庁舎内会議室他

- ③ 参加対象 自治体職員等
- ④ 実施概要 自治体等の地域包括ケアに関する事例について、非公開のグループワーク形式での意見交換機会を提供し、理解促進を支援

【開催予定】

- 第5回地域包括ケア事例研究会
～アクティブシニア層の活躍と介護サービスの質の向上を目指す～
 - ア. 日 程 令和元年11月7日(木) 13:30～17:00
 - イ. 場 所 さいたま新都心合同庁舎1号館1階 多目的室
 - ウ. 実施概要 介護相談員事業について、本事業を実施していない市区町村や実施しているが課題を持っている市区町村を主な対象として、先進自治体による取組みの紹介や自由活発な意見交換を通じて課題解決のヒントを得られることを目的として開催。
 - エ. 講 師 介護相談・地域づくり連絡会
老健局高齢者支援課(行政説明)
ほか先進自治体等

3. 認知症サポーター養成講座の開催予定

- (1) 実施時期 随時
- (2) 参加対象 関東信越厚生局職員、他の省庁の支分部局職員

【開催予定】

- ・ 山梨事務所
 - ア. 日 程 令和元年12月3日(火)
 - イ. 場 所 甲府合同庁舎2F 共用大会議室
 - ウ. 講 師 山梨県福祉保健部健康長寿推進課 認知症・地域支援担当
小林由紀子副主幹(キャラバンメイト)

4. その他

- (1) 地域支援事業交付金執行事務
平成30年度と同様、地域支援事業交付金について、老健局と連携を図りながら、地域支援事業交付金交付要綱に基づく管内都県の交付決定事務を行う

- 【日程】**
- 5月 当初交付申請
 - 7月 実績報告
 - 10月 過年度分再確定、支払い①
 - 12月 調整交付金申請
 - 1月 支払い②

2月 変更交付申請

3月 支払い③（平成30年度以前分を含む）

(2) 地域医療介護総合確保基金（介護施設整備分・介護人材確保分）関係業務

平成30年度と同様、管内都県における実施状況や課題等について、老健局と連携を図りながら、当該基金の残高及び執行状況に係る調査や事業見込み量（所要額）に係る調査等を行う

【日程】 4月 介護施設整備分ヒアリング

5月 介護人材確保分ヒアリング、介護施設整備分事業量調査

10月 執行状況調査・事業量調査

1月 事業量調査（翌年度分）

(3) 介護保険事業（支援）計画関係業務

介護保険事業（支援）計画に基づく取組の進捗状況、目標の達成状況や計画の推進に当たっての課題等について、老健局と連携を図りながら、管内都県を通じて把握し、当該都県等に対する必要な助言及び支援を行う

【日程】 第7期計画の進捗管理の実施状況に関するヒアリング（10月15日～18日）

令和元年度 認知症サポーター養成講座 参加状況

9月13日(金)本局開催 77名

(内訳)

関東信越厚生局	20名
関東管区行政評価局	3名
関東財務局	34名
経済産業局	4名
埼玉労働局	9名
関東農政局	2名
関東地方整備局	5名

9月20日(金)茨城事務所開催 79名

(内訳)

関東信越厚生局茨城事務所	20名
茨城行政監視行政相談センター	8名
水戸地方検察庁	24名
水戸保護観察所	9名
関東財務局水戸財務事務所	5名
茨城労働局	1名
関東農政局茨城事務所	12名

9月24日(火)新潟事務所開催 39名

(内訳)

関東信越厚生局新潟事務所	13名
新潟行政評価事務所	1名
関東財務局新潟財務事務所	4名
新潟労働局	2名
新潟公共職業安定所	4名
新潟検疫所	2名
北陸地方整備局	2名
北陸信越運輸局	11名

認知症サポーター養成講座（関東信越厚生局）

日程：令和元年9月13日（金） 14時15分～15時50分

会場：関東信越厚生局 第一会議室

参加人数：77名（内訳：関東信越厚生局内20名、関東信越厚生局外57名）

1. この研修に参加した感想をお聞かせ下さい。

①非常に有意義だった	②有意義だった	③どちらともいえない	④あまり参考にならなかった	⑤回答なし	合計
58	19	0	0	0	77

※自由記述 30本

○認知症になった人の目線で物事を考えることの大切さを知った。

○配布資料以外にも、飲食、睡眠、性格など、様々な観点から説明いただき、認知症予防の理解が深まった。

○TVやニュースでは聞くことではあるが、実際関わっている人（講師ではあるが）の経験談が、とても親身に聞こえてきて、頭に入りやすいと思いました。

2. 研修内容について理解できましたか。

①よく理解できた	②まあまあ理解できた	③あまりよくわからなかった	④全くわからなかった	⑤回答なし	合計
49	28	0	0	0	77

※自由記述 20本

○講師の説明がわかりやすい。

○研修内容については理解できました。しかし、実際に認知症の方と接した時に、研修で学んだとおりに出来るか自信がないです。「あなたがいてくれて嬉しい！」を唱えたいと思います。

○遺伝的に決まっている、認知症リスクを減らす考え方など、これまで認識していた考え方を変えるきっかけになりました。

3. 研修の時間はどうでしたか。

①長い	②ちょうどよい	③短い	④わからない	⑤回答なし	合計
3	69	5	0	0	77

※自由記述 7本

○興味深い話で、集中して聞いた。

○定期的開催されてもいいと思います。

4. 今後の業務に役立てる、参考にできる内容だと思いませんか。

①非常に役立つ	②まあまあ役立つ	③あまり役立たない	④わからない	⑤回答なし	合計
29	37	2	7	2	77

※自由記述 20本

○業務上高齢者を相手にすることも多く、その対応への参考になった。

○業務というより家族、近所で役立つと思う。

○居住支援の関連で関わりのある分野であるのでとても有益でした。

5. その他、今回の研修及び今後の研修について、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入してください。

※自由記述 28本

○質疑応答がほしかった。

○DVDが見えにくかった（モニターの正面の列に座っていたからかもしれないが）。プロジェクターで見ることが出来れば、よりよくDVDを見ることが出来たと思う。

○身近な人で認知症を発症した時に慌てないよう勉強したいと思います。

○もっと周知いただけたら（他にもこういった研修があると思うので）、と思います。今回初めてでしたがとても勉強になりました。

認知症サポーター養成講座（関東信越厚生局茨城事務所）

日時：令和元年9月20日（金）①10時15分～11時45分 ②14時15分～15時45分

会場：水戸地方合同庁舎 共用大会議室

参加人数：79名

参加官署：水戸財務事務所、茨城行政監視行政相談センター、水戸保護観察所、関東農政局茨城支局、水戸地方検察庁、茨城労働局、関東信越厚生局茨城事務所（主催）

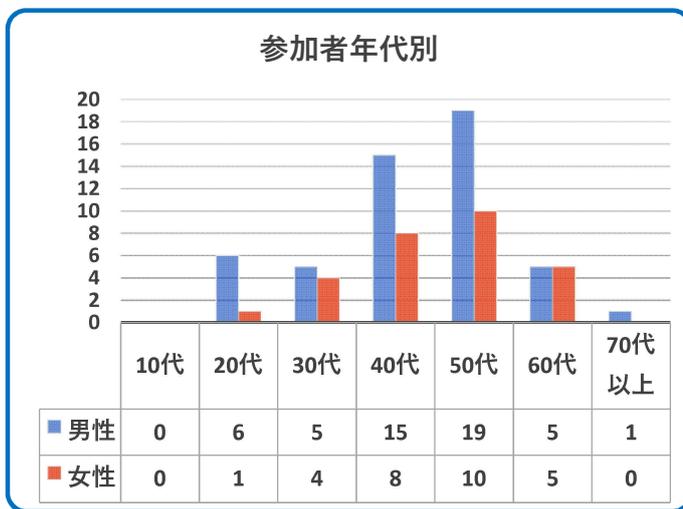
講師（キャラバン・メイト）：特定非営利活動法人 認知症ケア研究所 統括管理者 高橋 克佳 様

「認知症の理解～認知症の人の世界を知ろう～」

● 認知症の方から見えている世界を認知症の特徴から考え、どうコミュニケーションをとっていくのかを、実際にケアに携わる講師の経験に基づき分かりやすく説明いただきました。参加者からは、様々な事例をユーモアを交えて聞くことができとても有意義な研修だったといった感想が多数ありました。

～アンケート結果～

1. 参加者の内訳



2. この研修に参加した感想をお聞かせください

①非常に有意義だった	②有意義だった	③どちらともいえない	④あまり参考にならなかった	⑤回答なし	合計
51	26	1	0	1	79

※自由記述 50本

○認知症についての知識がなかったため非常に勉強になった。（40代男性）

○現在、間もなく90歳になる母と同居しており、対処の仕方についてとても参考になった。（50代男性）

○認知症にも様々な種類があり症状が違っていたり、どんな対応をとるのがベターかが知れて勉強になりました。（40代女性）

○認知症の人への「安心」のためのコミュニケーションという視点は初めて知ったので勉強になりました。（20代女性）

3. 研修内容について理解できましたか

①よく理解できた	②まあまあ理解できた	③あまりよくわからなかった	④全くわからなかった	⑤回答なし	合計
69	9	0	0	1	79

※自由記述 35本

○ユーモアを交えて話していただいたのでわかりやすかったです。（20代女性）

○具体的な事例が多く興味深い話が多かった。(40代男性)

○用語の説明とともに具体例や実際の患者に見られたエピソードを交えて説明してもらえたので具体的なイメージを頭に浮かべながら理解できた。(30代男性)

4. 今後の業務や地域活動において役に立つ内容だと思えますか

①非常に役立つ	②まあまあ役立つ	③あまり役立たない	④わからない	⑤回答なし	合計
55	21	1	1	1	79

※自由記述 28本

○仕事が社会復帰支援担当であり業務での相手への対応に参考になった。(60代男性)

○近所にも高齢者が多く、対応する際に役立つと思われる。(50代男性)

○自分の住んでいる地域に高齢の方が多いため今後の生活に役立つと思った。(40代男性)

5. その他、今回の研修について、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください

※自由記述 31本

○具体的な話が多く参考になりました。今、レビー型の母と同居して日々悩みながら生活しています。支えていきたいと思っています。(50代女性)

○少子高齢化に向けた生活に係るテーマで続けてほしい。(50代男性)

○講師の方の話が分かりやすく聴きやすかったので、内容が理解しやすくすごくよかった。(40代男性)

○大変勉強になりました。今後の業務に大いに役立てることができそうです！(20代男性)

○当所が関係するボランティアにも研修をしたいと思った。(40代男性)

○受講できなかった者もいるので次年度も開催を希望します。(50代男性)

令和元年度 関東信越厚生局新潟事務所「認知症サポーター養成講座」

○新潟事務所及び国の行政機関を対象に開催しました

【実施結果】

令和元年9月24日（火）、国の職員も認知症について正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やその家族に対してできる範囲での手助けを行うなど認知症の人にやさしい地域づくりに貢献することを目指すため、新潟市に所在する国の行政機関を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、関東信越厚生局新潟事務所職員及び7官署で39名の参加がありました。参加されました各行政機関におきましては、関東信越厚生局における地域包括ケア推進の活動及び当該講座の開催に理解して頂きました。

【開催内容】

- ① 日 時：令和元年9月24日（火） 午後2時00分～午後3時40分
- ② 場 所：新潟東京海上日動ビルディング1階会議室
- ③ 講 師：吉岡 裕雄 歯科医師 博士（歯学）
日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科
- ④ 対象機関：関東信越厚生局新潟事務所及び新潟市に所在する国の行政機関
- ⑤ 参加人数：関東信越厚生局新潟事務所 13名
他7官署 26名
・新潟行政評価事務所 ・新潟財務事務所 ・新潟労働局
・新潟公共職業安定所 ・新潟検疫所 ・北陸地方整備局
・北陸信越運輸局
- ⑥ 共 催：関東信越厚生局新潟事務所 関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課
新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
- ⑦ 後 援：新潟県社会福祉協議会



関東信越厚生局・新潟県共催

後援：新潟県社会福祉協議会

関東信越厚生局新潟事務所

関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

新潟県福祉保健部高齢福祉保健課

認知症への理解を深める

《認知症サポーター養成講座》



○ 日 時：令和元年9月24日（火）14時00分～15時40分
（受付：13時30分～）

○ 場 所：新潟東京海上日動ビルディング1階会議室

○ 講 師：吉岡 裕雄 先生

日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科 歯科医師
博士（歯学）

【プログラム】

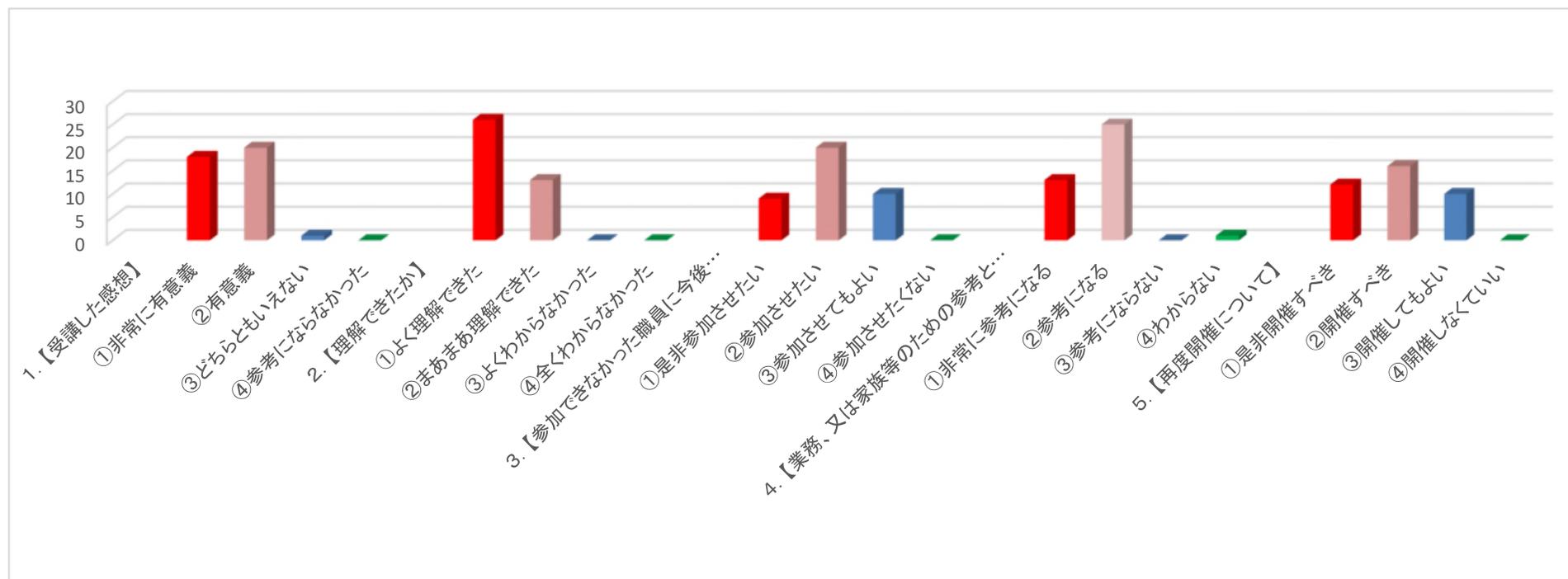
1. 14:00～14:05 ○ 開会・挨拶
関東信越厚生局新潟事務所長 森 正孝
2. 14:05～15:35 ○ 認知症サポーター養成講座
講師 吉岡 裕雄 先生
3. 15:35～15:40 ○ 質疑応答
4. 15:40 ○ 閉会・オレンジリング交付

【配布資料】

- ◇ 認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」（冊子）
- ◇ 「認知症に関する相談電話案内」パンフレット
- ◇ 出席官署一覧
- ◇ 「関東信越厚生局2019」パンフレット

認知症サポーター養成講座アンケート

令和元年9月24日



参加者数39名(回収率100%)

1. 受講した感想		2. 理解できたか		3. 参加できなかった職員に今後参加させたいか		4. 業務、又は家族等のための参考となったか		5. 再度開催について		合計	割合
①非常に有意義	18	①よく理解できた	26	①是非参加させたい	9	①非常に参考になる	13	①是非開催すべき	12	78	83.1%
②有意義	20	②まあまあ理解できた	13	②参加させたい	10	②参考になる	25	②開催すべき	16	84	
③どちらともいえない	1	③よくわからなかった	0	③参加させてもよい	20	③参考にならない	0	③開催してもよい	10	31	16.4%
④参考にならなかった	0	④全くわからなかった	0	④参加させたくない	0	④わからない	1	④開催しなくていい	0	1	

〔アンケート主な意見等〕

令和元年9月24日(火)

研修テーマ:認知症サポーター養成講座

1. 今回、初めて国の機関を対象に当該講座を開催しました。受講した感想をお聞かせ下さい。

- ・初めての内容だったので、とても興味が持てた。
- ・ぼんやり分かっていたつものものが明確になった。
- ・わかりやすく丁寧に説明してくれた。

2. 講座内容について理解できましたか。

- ・認知症が私が思っているほどの病気ではなかったことが理解できた。
- ・具体的な事例をあげているのでわかりやすかった。
- ・説明が分かりやすかった。
- ・パンフレットだけではなくスライドや実例を出していただいととてもわかりやすかった。

3. 今回参加できなかった各官署の職員について、次回開催した場合、参加させたいですか。

- ・認知症について知っている人が1人でも多くいれば良いと思う。
- ・やるなら美咲合同庁舎で開催してほしい。
- ・職場全体が理解している必要があると感じるため。
- ・各機関の教養講話のコマとして使用してもいいのではないかと感じる。
- ・非常に有意義である。

4. ご自身の部署で、今後の業務に役立てる(役立てる機会があるかもしれない)又は身近な家族等のために参考にできる内容だと思えますか。

- ・来所される休職者の中に認知症の人がいるかもしれない。対応する際のポイントは参考になった。
- ・接し方について知ることが出来た。
- ・自分を含め遠い未来の話ではないので参考になる。

5. 新潟県内で再度、同様の講座の開催を検討していますが、どう思いますか。

- ・知っている人が増えるととても良い。
- ・身近な問題として意識するために開催したほうが良いと思う。
- ・ちょっとした心がけで認知症患者の様子は変わってくるので、多くの人に知ってもらった方が良い。

6. その他、地域包括ケアの推進に関して、何かご意見等がありましたら下記に記載してください。

- ・もっとPRしたらよいのではないか。

令和元年 10 月 8 日
地域包括ケア推進課

自治体に対する在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院に係る
定例報告の情報提供について（経過報告）

令和元年 7 月 29 日推進本部会議後の経過及び今後の予定

- 1 8 月 8 日都県事務所長宛メールにて、データの情報提供方法やスケジュールについて示し、意見をお願いしました。
- 2 8 月 20 日に都県地域包括ケア担当課宛に事務連絡を送付し、本取扱の開始について通知し、また、都県から市区町村への周知を 8 月末までに行うようお願いしました。
- 3 事務連絡で、定例報告の情報提供を希望する都県は地域包括ケア推進課に依頼書の提出を求めておりましたが、管内の全都県より依頼書の提出がありました。
- 4 全都県事務所よりデータの提供をしていただきました。
- 5 地域包括ケア推進課で提出いただいたデータを整理し、10 月 11 日より都県への情報提供を行います。
また、当課でもデータを活用した地域分析を行いたいと考えております。

在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院に係る定例報告の情報提供スケジュール（イメージ）

作業項目		8月			9月			10月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
定例報告受付及び集計作業	都県事務所	→								
都県地域包括ケア担当課へ通知	ケア課⇒都県			20日						
都県から市区町村へ本取扱を開始する旨を通知する	都県⇒市区町村			→						
定例報告の情報提供を希望する都県は厚生局地域包括ケア推進課に依頼書を提出	都県⇒ケア課			→						
都県事務所より厚生局地域包括ケア推進課へエクセルデータ又はPDFでデータ提供	事務所⇒ケア課			→						
厚生局地域包括ケア推進課は情報を整理し都県へ情報提供	ケア課⇒都県						→			
都県は適宜データを整理し市区町村へ情報提供する	都県⇒市区町村						→			

地域包括ケアシステム構築に向けた厚生局における後方支援の取組

- 地域包括ケアシステムの構築の主体は、地域（住民）と基礎自治体である市区町村。
- 都道府県は、広域的な見地から市区町村による取組を支援。
- 厚生局では、上記の役割を踏まえ、尊重した上で、後方支援として、国（厚生労働本省）の政策と地域・自治体の取組とを「つなぐ」3つの取組を進めています。

1. 国（本省）と自治体・地域を「つなぐ」（啓発）

国の制度や関連施策の紹介を行うとともに、地域包括ケアシステムの理念・考え方等についての普及浸透、理解促進のため、セミナーやシンポジウムを開催しています。

2. 自治体・地域同士を「つなぐ」（情報の収集と発信）

自治体・地域の好取組事例を「ヨコ」展開していけるよう、情報収集を積極的に進めるとともに、効率的・効果的な情報発信に取り組んでいます。

3. 地域づくりの視点で、福祉分野と他分野を「つなぐ」（連携）

地域づくりの視点で必要となる他省庁の所管に関わる施策については、他省庁の地方機関とも相互協力を図り、連携してイベントを開催するなど様々な関係者が連携するきっかけ作りを行うとともに、他省庁と共同でチームを作り、都県等へ訪問、助言なども行っています。

また、地域で活動しているNPO等の関係団体とも協力の上、自治体支援に取り組んでいます。

地域の取組事例（生活支援活動） 南足柄市の例

おたがいさまネット（生活支援活動）の概要

人口 42,005人 (H31.4.1)
高齢化率 31.8% (H31.3末)

- 「おたがいさまネットおかもと」は、岡本地区に暮らす住民の有志が立ち上げた住民同士の助け合いの組織。「育てよう！つくろう！岡本地区にささえあいの輪」をモットーに生活の中の困りごとや不安なことを解決する暮らしのサポーターとして、岡本地区にお住まいの皆様生活を応援している。
- 岡本地区に続き、南足柄地区においても「おたがいさまネットみなみ」の活動が発足予定。（令和元年10月頃）

【利用できる人】当該地区に居住し、本人及び家族が高齢、体のご不自由な方、病気、出産、育児などの理由により、日常生活にお困りの方。
【利用日と時間】担当者がご自宅を訪問し、詳しい打ち合わせを行って決定。



ポイント1 住民のチカラで困りごとの解決策を考える！ ～南足柄地区の例～

平成30年9月 南足柄地区生活支援活動準備委員会発足

- 【準備委員会メンバー】14名
自治会長
地区老人クラブ会長
地域福祉会
民生委員児童委員（現・元）
- 【アドバイザー】
市老人クラブ連合会会長
- 【オブザーバー】
市高齢介護課
市社会福祉協議会
岡本地区立ち上げメンバー

岡本地区での実績をベースに、南足形地区としての方法を模索・・・

まずは全世帯向けニーズ調査（アンケート）をやってみよう！

生活支援活動とは何か、というチラシを地域住民に配布しよう！

ポイント2 「支え合い活動」の輪を広げる！

暮らしの困りごとは、特別な人にもみあるものではありません。
おたがいさまの意識で関わりを持って生活をしていきたいと考えています。

都合のつく
時間で

できる
お手伝いを

私たち仲間
と一緒に

生活の中の困りごと、不安なこと
ちょっと手を貸してほしい時
ご利用ください



楽しく活動しながら誰もが安心して暮らせる
まちづくりに取り組んでみませんか？